みんなの文芸

引間豐作選　投稿数21句

夜半の雨蟋蟀の声消しにけり　皆野　戸塚喜久雄

（評）「夜半の雨」を戸塚氏は、「やはんのう」とルビをふったが、「よわのあめ」と読んだ場合との違いを感じてほしい。俳句は声に出して読んでみるとよい。俳句ではリズムが大切である。ただ文字を目で追っているだけでは判らない。下五の「に」は完了の助動詞「ぬ」の連用形で、上には連用形がつく。「けり」は詠嘆の助動詞「けり」の終止形で、上には連用形がつく。「けり」の詠嘆は、今まで気づかなかったことに初めて気づいた驚きや感動を表す。「連用形＋けり」は俳句では頻出の表現で○○してしまったなあとなる。

鶴ヶ城仰ぐその先鰯雲　皆野　大沼シズ子

少女弾くピアノ花野を越えて来る　皆野　市川　岳樹

ヘリ低くよぎれる峡の鰯雲　三沢　眞下　杏子

雨に伏す芒避けゆく札所坂　三沢　長谷河ソノ

語らいて朝露光る散歩道　皆野　保科　従道

木犀の香り染みたる野良着脱ぐ　三沢　新井　民子

秋風やさらりと拝む石仏　上日野沢　四方田利男

七草の寺に秋花咲き誇り　下田野　新井　節子

竜巻の爪跡無残台風過　皆野　根岸　詩子

石仏囲まれていて彼岸花　三沢　澤野　恒平

長き夜の寝床に灯し読書かな　皆野　関根　助市

うなだるも個性露に穂草かな　皆野　引間　千鶴

中田久恵選　投稿数24首

遷御の儀テレビ画面の厳かに松明進む外は虫の闇　皆野　根岸　詩子

（評）毎月墨痕鮮やかな楷書で達筆な「みそひともじ」を出して下さるのを襟を正し拝読させて頂いています。今月は「遷御の儀」を詠われて頂くことの多い一般人、特に高齢者は日本人で良かったと感じ、日本の平和を祈ったことであろう。又神話の世界そのものが現在に生きている。日本の伝統文化を見直すことの大切さを強く感じた。静寂のなか神職らの浅沓が、玉砂利をきしませて歩く音は今でも耳に残っている。「外は虫の闇」この結句に集約されている秀歌であります。この神事は一三〇〇年前の飛鳥時代から続くとされている。テレビ等で拝見させ

伊勢神宮式年遷宮受け継がる人、物、心の伝統の技　三沢　鈴木　貞恵

人生を短歌に託せるよろこびに老の侘びしさほぐれ清しき　皆野　新井　愛子

月眺む今宵の我はかぐや姫ぎゅうっと抱きしむ望郷の念　皆野　豊田喜美恵

今日の夢明日の夢へとつなぎつつ人生楽し恙無き日々　皆野　関根　助市

老といふ言の葉呑みて生活ども避けて通れぬ八十坂なれば　三沢　新井　叶子

探査機は太陽系を旅立ちぬ未知との遭遇夢を載せつつ　皆野　打木　昭広

身罷りし東洋の魔女河西さん五輪の快挙今も忘れず　下田野　新井　節子

もてなしの心受け継ぎ吾が庵を訪なふ人に茶を汲める秋　三沢　新井　民子

歓喜する五輪招致の勝因は開催理念とロビー活動　皆野　源氏　和幸

曾孫等愛らし仕種に癒やされて老い込む我は元気を貰ふ　下日野沢　浅見　豊子

消費税引き上げ決まる巷には不安の声と已む無きの声　皆野　引間　万亀

日本の原発事故は世界中不安にさせる地球の汚染　上日野沢　四方田利男

指回し赤とんぼとりし幼き日を思い出すわれ九十二歳　三沢　長谷河光久

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

映画上映のお知らせ

『長ぐつをはいたネコ』

広報みなの10月号でお知らせした11月10日(日)の映画上映は、次のとおり日時を変更しました。

期　日　12月15日(日)　２回上映
時　間　午前10時～　午後１時～
場　所　文化会館ホール
入場料　無料
問合せ　教育委員会学校教育担当
☎62-4563

1歳のお誕生日おめでとう

未来ちゃん
親鼻区　根岸　大樹さん　由美さん

元気な未来ちゃん！
いつも笑顔をありがとう♡

良朋くん
上の台区　請川　良範さん　めぐみさん

いつも笑顔をありがとう☆
心も体も大きく育ってね！

陽菜ちゃん
国神区　久保　優さん　美紀さん

1歳の誕生日おめでとう。
やさしい子に育ってね☆

※満１歳の赤ちゃんを募集します。12月号の締め切りは、11月10日(日)まで。ホームページからも応募できます。